

■ 堺市圏域における在宅医療において必要な連携の拠点の取組状況について

資料 2

対象地域		堺市
実施主体	連携の拠点	一般社団法人 堺市医師会
	市町村医介連携事業（委託先）	一般社団法人 堺市医師会

（１）令和6年度の取組内容（予定含む）

①会議の開催 （③急変時の対応等の体制構築 等を含む）	②地域の資源の把握・ 関係機関との調整	④在宅医療に係る研修	⑤在宅医療の普及啓発
■在宅医療を行う医師の負担軽減を目的とした医師代診制の体制構築に向け、在宅診療を行う医師・スタッフとの検討会を開催（2回）。 （取組の日時等） ・秋以降2回開催予定	■災害時における施設、在宅など指定避難所外、仮設住宅等の被災者支援への専門職の連携体制構築に向け、各関係機関の現状把握と情報交換会の開催。 ■在宅医療への新規参入にかかる支援 （取組の日時等） ・行政関係部署、関係機関等に対してヒアリング調査の実施。 ・職能団体における災害支援対応についての専門職合同会議の開催（今年度中）。	■在宅医療スキルアップ研修の開催（2回）。 （取組の日時等） ・在宅医療の現場で使用する医療用麻薬の知識と医療機器の実技研修会（9月21日開催） ・在宅診療における緩和ケアへの対応力向上に向けた臨床実習（秋以降1回開催予定）	■映画を活用したACPの啓発活動の実施。 （取組の日時等） ・ACPに関連する映画を活用し、映画上演とACP座談会の2部構成による講演の開催（12月19日予定）。

（２）進捗状況

- ① 代診制について過去に検討した内容をベースに調整中。 ② 各関係機関にヒアリング進行中、4団体と実施。
- ④ 1回目の研修会「医療用麻薬持続皮下注射」を終了。2回目の研修会「緩和ケア病院実習」の日程調整中。
- ⑤ チラシ、SNS、広報誌などを用いて市民に参加周知中。講演会の成果向上のため、講師と最終のすりあわせ予定。

（３）課題

高齢者施設、特にサービス付き高齢者向け住宅などへの在宅医療提供に大きな質の差がある。一部の施設では、「急変時に救急対応できない」「ACPが普及していない」「施設の専属診療医への望まれない交代」などの課題がある。